# 展覧会プレスリリリース

布施知子 Fuse Tomoko

# ORIGAMI

## 紙の鼓動 | Pulsating Paper

2024.11.29 |金| ▷ 2025.03.23 |日|



布施知子《レッド・スネーク》《シルバー・スネーク》《ゴールデン・スネーク》2024年　洋紙(NTラシャ、ハイピカ E2F)作家蔵
©Fuse Tomoko 撮影：宮川邦雄 Choice

ヤマザキ マザック美術館
THE YAMAZAKI MAZAK MUSEUM OF ART

〒461-0004　愛知県名古屋市東区葵 1-19-30
地下鉄東山線「新栄町」1番出口直結
ＴＥＬ：052-937-3737

特別展

# 「布施知子　ORIGAMI－紙の鼓動－」のご案内

ヤマザキマザック美術館は、初代美術館館長山崎照幸(1928-2011)の収集したフランス美術300年の流れを一望できるコレクションを公開するための美術館として、2010年4月23日にオープンいたしました。今年で開館13年となります。美術館の母体である「ヤマザキマザック株式会社」は、金属部品加工の工作機械を製造するグローバルカンパニーです。工作機械は、先端産業である自動車、航空機、船舶、人工衛星や、時計、携帯電話、人工骨などの金属部品を加工する機械で、世界中の製造業の基盤を支えています。

当館は、11 月 29 日から 2025 年 3 月 23 日まで「布施知子　ORIGAMI－紙の鼓動－」展を開催いたします。この展覧会では、世界的に有名な折り紙のスペシャリスト、布施知子（1951-　）の作品を近作中心に約 50 点ご紹介いたします。当館のアール・ヌーヴォーの展示室のために制作した新作インスタレーションも 4 点展示いたしますので、折り紙の無限大の造形美を堪能していただければ幸いです。

2024 年 11 月

ヤマザキマザック美術館

**本紙の内容**

企画展概要
企画主旨
見どころ
主な出品作品
会期中のイベント情報
情報掲載用画像・プレゼント用招待券利用申込書
美術館案内



布施知子氏

## 企画展概要

1. 展覧会名：「布施知子　ORIGAMI－紙の鼓動－」

2. 会期：2024年11月29日(金)～2025年3月23日(日)
※状況によっては会期等開催内容が変更となる場合があります。
最新情報につきましては当館ホームページの「お知らせ」欄でご確認ください。

3. 会場：ヤマザキマザック美術館　4階展示室
461-0004　愛知県名古屋市東区葵1-19-30(地下鉄東山線「新栄町」下車/1番出口直結)
TEL 052-937-3737　URL www.mazak-art.com

4. 開館時間：平日 10:00～17:30 / 土日祝 10:00～17:00 ※入館は閉館の30分前まで

5. 休館日：月曜日(1月13日、2月24日は開館)、1月14日(火)、2月25日(火)
年末年始(12月30日～1月4日)

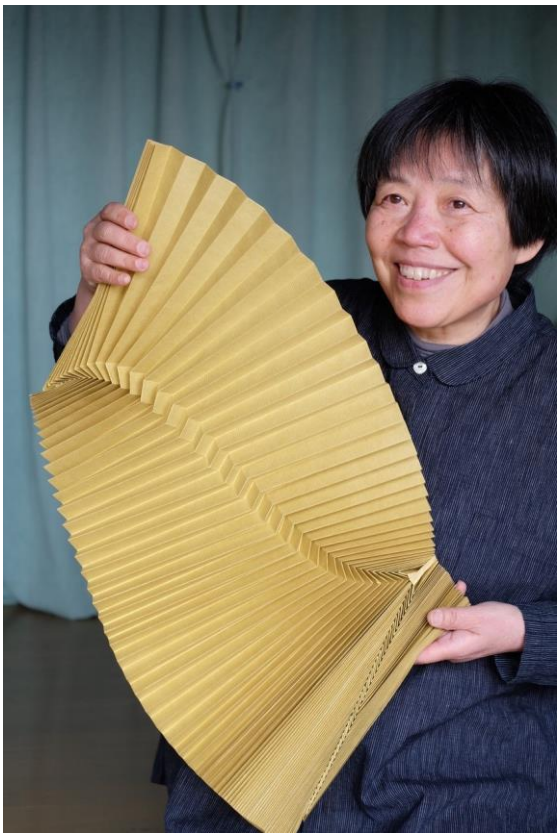
6. 入館料：一般1,300円(10名様以上1,100円)、小・中・高生500円、小学生未満無料
〔音声ガイド無料サービス〕

7. 主催：ヤマザキマザック美術館、中日新聞社
協力：株式会社カセットミュージアム
後援：愛知県教育委員会、岐阜県教育委員会、三重県教育委員会、
名古屋市教育委員会、名古屋市文化振興事業団

8. 記者発表会：2024年11月29日(金) 14:00～15:00(13：45より1階で受付開始)

9. 連絡先
ヤマザキマザック美術館
展覧会担当学芸員　吉村有子　Yuko_Yoshimura@mazak.co.jp
広報担当　西川由佳里　Yukari_Nishikawa@mazak.co.jp

## 企画主旨



このたび、ヤマザキマザック美術館におきまして「布施知子　ORIGAMI ―紙の鼓動―」展を開催いたします。

日本では大変身近な存在で、幼い頃の記憶と生活の中に息づいている「折り紙」。「子供の遊び」でありながら、それにとどまらない奥深さをもっている不思議な存在です。布施知子(1951-　)はこの折り紙のスペシャリストです。一枚の紙を折ったユニット(パーツ)を組み合わせて立体作品を作る「ユニット折り紙」を代表する作家として有名で、世界各地で展覧会や実演会、ワークショップを行っています。

この展覧会では、布施が近年制作している数多くの作品の中から、「くす玉」や「アリ地獄」といった「ユニット折り」をはじめ、「スパイラル(らせん)折り」、「平折り」、「無限折り」、「ノット(結び目)による造形」など、多種多様な折り方によって無限の形と美しさを見せる折り紙の数々を展示いたします。

また、枯山水を表現したスケールの大きなインスタレーションをはじめ、当館のアール・ヌーヴォー様式のダイニングルームの展示室 2 部屋、アール・ヌーヴォー様式のベッドルームの展示室 1 部屋の床全面を使ったインスタレーション 3 点を初公開。日本人が「折り紙」に対して持っている固定観念を覆すような、力強く変幻自在な紙と折りの造形美をご紹介いたします。

見どころ

### 1　布施さんの新作折り紙インスタレーション《枯山水 in 葵》をご紹介！

展覧会導入部の細長い空間に、枯山水の庭園が出現！布施さんが当館の展示室をイメージして考えてくれた折り紙による枯山水です。実際にどのようなものになるのかは、展覧会オープン当日のお楽しみですが、巨大な白い折り紙の山や川が、展示室のシックな木の床、美しい織り模様の入った緑色の壁紙に映えて、スケールの大きな格調高い空間になること間違いなしです。

ちなみに、ヤマザキマザック美術館は、江戸時代に尾張徳川家の広大な別邸「御下屋敷（「おしたやしき」もしくは「おしもやしき」）」があった場所に建っています。御下屋敷には回遊式庭園や御薬園（薬草園）もあったということですので、全くの偶然なのですが、なにかご縁を感じさせるインスタレーションです。

### 2　当館のアール・ヌーヴォー家具の展示室をイメージして制作した新作折り紙インスタレーション《シルバー・スネーク》《ゴールデン・スネーク》《レッド・スネーク》をご紹介！

アール・ヌーヴォーのベッドルーム家具やダイニング家具が展示された当館 4 階の展示室。まるで 19 世紀フランスのお屋敷に迷い込んだような特別な空間となっています。布施さんはそれらの部屋を最大限に活かした折り紙インスタレーションを考えてくださいました！

ベッドルームやダイニングルームの床を、這い回る折り紙の蛇たち。それぞれの部屋の雰囲気に合わせて、蛇たちの色も金・銀・赤と異なります。アール・ヌーヴォーの優美なデザインと力強い折り紙の蛇たちのコラボレーションをお楽しみ頂けます。

### 3　様々な折り方を駆使して生み出された、ヴァリエーション豊かな折り紙の形と美しさをご紹介します！

折り紙の制作方法（折り方）は実に様々です。布施さんは 1 枚の紙を折ったユニット（パーツ）を組み合わせて立体作品を作る「ユニット折り紙」の名手として知られ、「ユニット折り紙の女王」と呼ばれています。しかし、それだけでなく「らせん折り」「多重折り」「無限折り」「平折り」「ノット（結び目）による造形」など実に様々な折り紙を試み、新たな形と美を生み出し続けています。この展覧会ではその折り紙の多様性を十二分にご覧頂けます。

### 4　今から約 50 年前(！)、若き日の布施さんが制作した「お面(マスク)」シリーズをご紹介します！

「ユニット折り紙の女王」として知られる布施さんですが、最初期には折り紙でお面（マスク）を制作していました。このたび、布施さんのご実家や知人宅から二十代半ばの布施さんが折ったお面が、非常によい保存状態で見つかりました！「般若」、「大黒」など紙を折って作ったとは思えない生き生きとした表情は見どころです。

## 主な出品作品



《枯山水 in 葵》2024 年　特殊紙(デュポンタイベック)、特殊障子紙(ツインガード)　作家蔵　撮影：宮川邦雄 Choice



《レッド・スネーク》2024 年 洋紙(NT ラシャ)
作家蔵　撮影：宮川邦雄 Choice



《シルバー・スネーク》2024 年 洋紙(ハイピカ E2F)
作家蔵　撮影：宮川邦雄 Choice



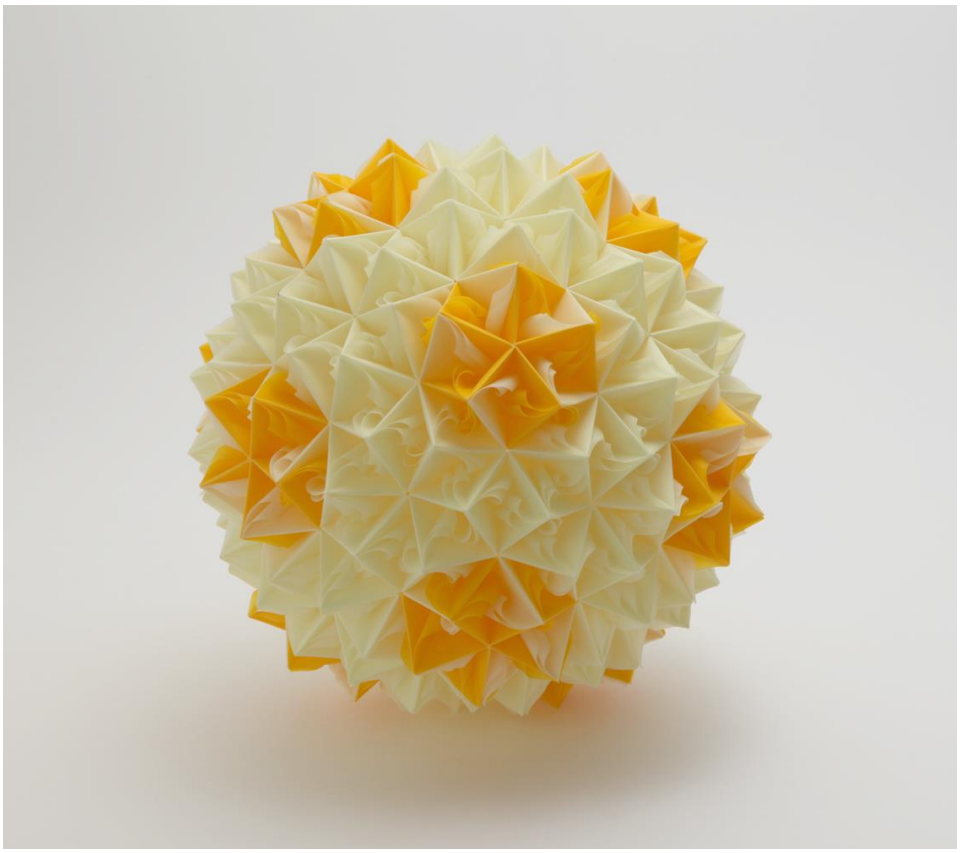
《ゴールデン・スネーク》2024 年 洋紙(ハイピカ E2F)
作家蔵　撮影：宮川邦雄 Choice



《般若》1976 年頃　楮で裏打ちした和紙(種類不明)　作家蔵



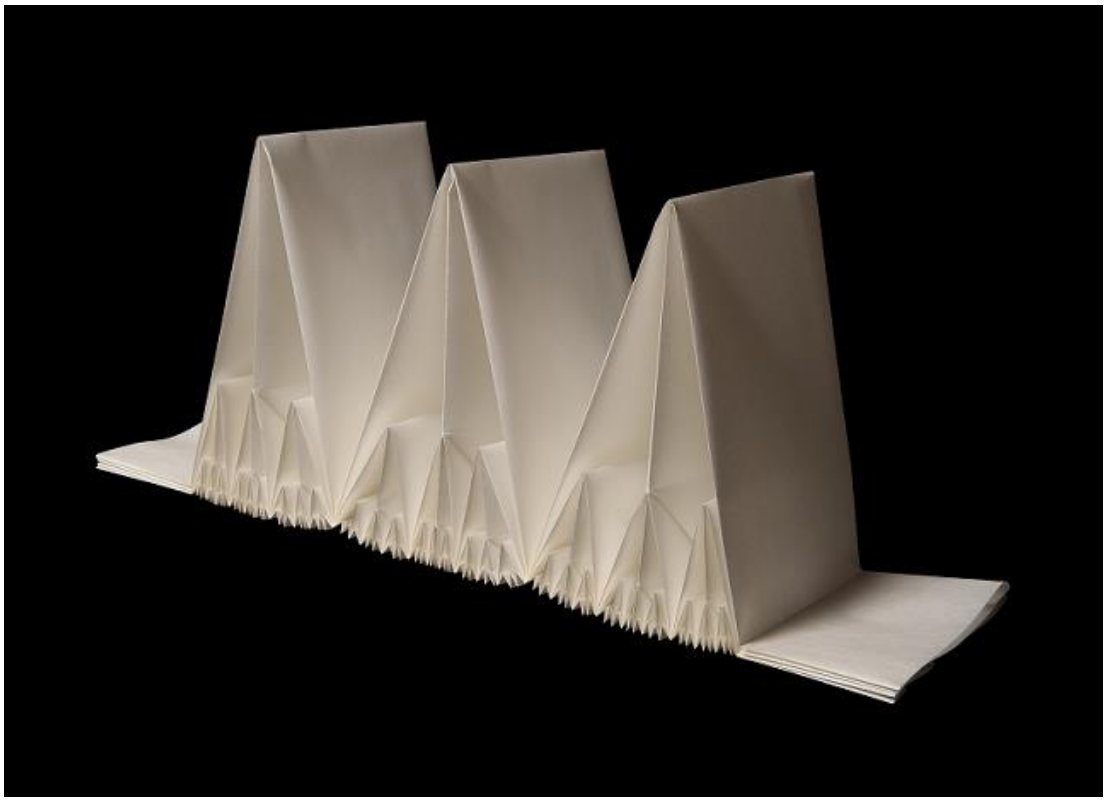
《大黒》1976 年頃　楮で裏打ちした和紙(鳥の子紙)　作家蔵



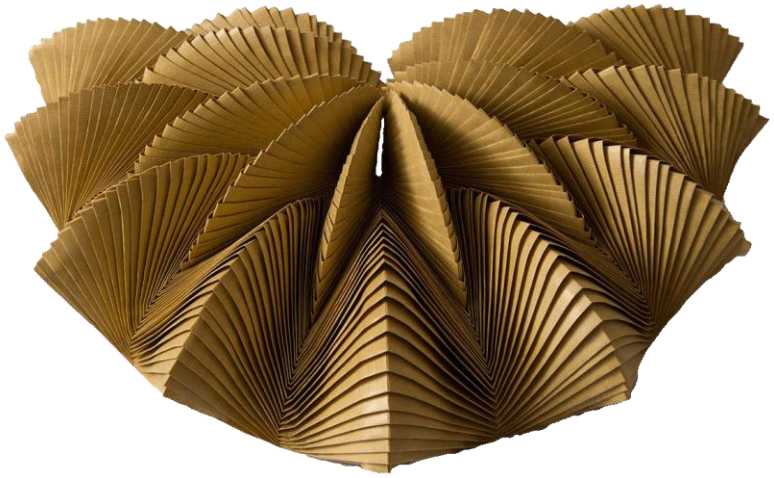
《アリ地獄》(270 枚組)　2010 年　洋紙(カラートレーシングペーパー)　作家蔵



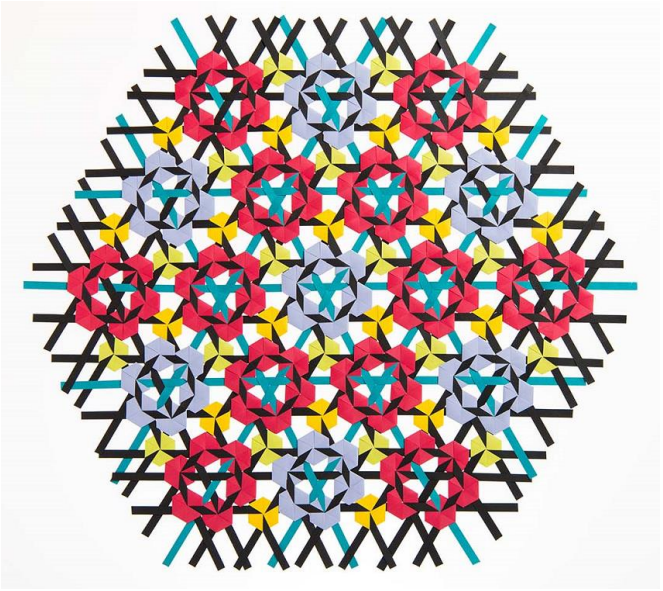
《らせん折り①》2005 年(2016 年再制作)　洋紙(OK ゴールデンリバー)　作家蔵



《白川郷》2015 年　特殊障子紙(ツインガード)　作家蔵



《ダブルファン》　2015 年　洋紙(筋入ネオポリン)　作家蔵



《ヘキサゴン・ノット 6》2016 年頃　洋紙(マーメイド、タント)　作家蔵



布施知子《渦折り＋四角／基本》2006 年(2016 年再制作)　土佐浜田和紙　作家蔵

# 特別展「布施知子　ORIGAMI ―紙の鼓動―」(11/29～2025/3/23)
# 情報掲載用画像・読者プレゼント用招待券利用申込書

・「布施知子　ORIGAMI」展の情報掲載の際に、下記の画像をご使用いただくことができます。※展覧会終了後は使用することができません。
・画像をご使用の際は必ずキャプションを併記願います。また、空いているスペースに©Fuse Tomokoと明記ください。
・画像はトリミングや字のせなどの加工をせずにそのままの形でお使いください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 貴 社 名 | | ご担当者名 | |
| 媒 体 名 | ✓をご記入ください。<br>☐ 紙媒体 ☐ Web ☐ その他（　　） | | |
| 画像番号 | 次ページの画像一覧をご参照のうえ、掲載を希望される画像の番号に〇をお付けください。<br>担当者が申込書を確認の後、データをご提供致します。<br>1　2　3　4　5　6　7　8　9　10　11　12 | | |
| ご 住 所 | 〒 | | |
| ご連絡先 | TEL　　FAX　　MAIL | | |
| ご掲載予定日 | ＊保管用に見本誌を 1 部お送りいただけますと幸いです。 | | |

・画像を使用して展覧会情報をご掲載いただける場合、読者プレゼント用に招待券をご提供可能です。下記に〇を付けてご回答ください。
→ 招待券の提供を（　希望する　・　希望しない　）
　└→ 必要枚数は（　3 組 6 名分　・　5 組 10 名分　）

**掲載用展覧会概要文**　＊記事作成の際にご活用ください。

〔300 文字程度〕

布施知子(1951-　)は折り紙のスペシャリストです。一枚の紙を折ったユニット(パーツ)を組み合わせて立体作品を作る「ユニット折り紙」を代表する作家として世界的に有名です。この展覧会では、布施が近年制作している数多くの作品の中から、「ユニット折り」をはじめ、「スパイラル(らせん)折り」、「平折り」、「無限折り」、「ノット(結び目)による造形」など、多種多様な折り方によって無限の形と美しさを見せる折り紙の数々を展示いたします。また、アール・ヌーヴォーの家具が展示された当館展示室をいかした新作インスタレーション 4 点を初公開。「折り紙」の固定観念を覆すような力強く変幻自在な紙と折りの造形美をご紹介いたします。

〔100 文字程度〕

布施知子(1951-　)は折り紙のスペシャリストです。この展覧会では「ユニット折り」、「スパイラル折り」、「平折り」、「無限折り」など、様々な折り方によって無限に形を変化させる布施の作品の数々を展示いたします。

お問い合わせ先：ヤマザキマザック美術館　企画課　広報担当　西川　由佳里
TEL 052-937-3737 / FAX 052-937-3789 / MAIL Yukari_Nishikawa@mazak.co.jp

＊ご記入いただいた個人情報は、本件における諸連絡また今後の催事情報のご案内のみに使用し、許可なく第三者に開示することはありません。

# 掲載用画像一覧

| | | |
|---|---|---|
| 1  | 5  | 9  |
| キャプション | キャプション | キャプション |
| 布施知子《アリ地獄》(270枚組) 2010年 洋紙(カラートレーシングペーパー) 作家蔵 | 布施知子《アリ地獄》(480枚組) 2019年 洋紙(マーメイドリップル) 作家蔵 | 布施知子《シルバー・スネーク》2024年 洋紙(ハイピカE2F) 作家蔵 |
| 2  | 6  | 10  |
| キャプション | キャプション | キャプション |
| 布施知子《ダブルファン》2015年 洋紙(筋入ネオポリン) 作家蔵 | 布施知子《渦折り＋四角／基本》2006年(2016年再制作) 土佐浜田和紙 作家蔵 | 布施知子《ゴールデン・スネーク》2024年 洋紙(ハイピカE2F) 作家蔵 |
| 3  | 7  | 11  |
| キャプション | キャプション | キャプション |
| 布施知子《らせん折り①》2005年(2016年再制作) 洋紙(OKゴールデンリバー)作家蔵 | 布施知子《ダリア》2019年 土佐浜田和紙 作家蔵 | 布施知子《枯山水 in 葵》2024年 特殊紙(デュポンタイベック、ツインガード) 作家蔵 |
| 4  | 8  | 12  |
| キャプション | キャプション | キャプション |
| 布施知子《ヘキサゴン・ノット6》2016年頃 洋紙(マーメイド、タント)作家蔵 | 布施知子《レッド・スネーク》2024年 洋紙(NTラシャ) 作家蔵 | 布施知子氏ポートレート |

会期中のイベント情報

＊美術館および会場入口での検温、手指の消毒にご協力ください。
＊状況によってはやむなく中止する場合もあります。
　最新情報につきましては事前に当館ホームページの「お知らせ」欄でご確認ください。

## 講演会 「私の折り紙の歩み」(ミニ折り紙教室付き)

**日時**　2025 年 1 月 18 日(土)　13:30 受付開始　/　14:00～15:30
**講師**　布施知子氏
**申込**　12 月 13 日(金)よりお電話(052-937-3737)にて承ります。
**定員**　60 名
**参加費**　無料ただし要本展鑑賞券(半券でも可)
**会場**　マザックアートプラザ(美術館北側隣接ビル)4 階会議室

「ユニット折り紙の女王」とも呼ばれ、世界的に有名な布施知子さん。折り紙の出会いから折り紙歴の変遷、折り紙の魅力、そして本展に出品して頂いた新作 4 点について語って頂きます。また講演会の後には布施さんによるミニ「折り紙教室」も行います。幼い頃のときめきを思い出して挑戦してみてください。

## ガイドツアー (会期中第 2・4 土曜日開催)

当館学芸員によるガイドツアー。展覧会の見どころをわかりやすく解説いたします。

**日時**　次の日程の 10：30 より約 1 時間
2024 年　…12 月 14 日、28 日
2025 年　…1 月 11 日、25 日、2 月 8 日、22 日、3 月 8 日、22 日
**申込**　不要
**定員**　20 名(先着順)
**参加費**　無料ただし要当日鑑賞券

・本展の鑑賞券をお求め・ご提示のうえ、参加証をお受け取りください。
・開始時刻の 5 分前までに、美術館 1 階ブールデルの彫刻《果物を持つ裸婦》の前へお集まりください。

## ナイトミュージアム「ハンドパン&ギタークリスマスコンサート ～心に満ちる音の波～」

**日時**　2024年12月8日(日)
17：45受付開始　/　18：15開演　/　19：15終演予定

**会場**　ヤマザキマザック美術館5階展示室

**出演者**　MIO-美音-　(立花朝人［ハンドパン］、伊藤智美［ギター］)

**費用**　友の会会員￥2,000(税込)　一般￥4,500(税込)　※一般申込者には本展覧会の当日券付き

**曲目**　「Amazing Grace」、「戦場のメリークリスマス」他
※曲目は都合により変更になる場合がございます。

**申込**　11月17日(日)より美術館1F受付、もしくはお電話(052-937-3737)にて承ります。

※友の会会員様には先行してご案内致します。

※未就学児のご参加はご遠慮ください。

※キャンセルは、12月6日(金)の17時までにお電話にてご連絡ください。以降は取消料(費用全額)を後日申し受けますので、あらかじめご了承ください。

ハンドパンは2000年にスイスで誕生した打楽器で、ホワンホワンという美しい音色が特徴的です。世界的にも珍しいハンドパンとアコースティックギターのユニットＭＩＯ－美音－が、優しく、切なく、時に激しいサウンドを奏でます。



MIO-美音-

## 美術館ご紹介

ヤマザキマザック美術館は、ヴァトー、ブーシェ、フラゴナール、シャルダンといったフランスのオールドマスターをはじめとするロココの時代から、ロマン主義を代表するドラクロワ、新古典主義のアングル、写実主義、印象派、エコール・ド・パリ等、18世紀から20世紀に至るフランス美術300年の流れを一望する構成となっています。

また19世紀末にフランスを中心に花開いたアール・ヌーヴォーの代表的な作家であるガレをはじめとする、様々な作家達のガラス工芸品、家具を展示しています。

棚や椅子、テーブル、暖炉、壁面フレームと一部屋まるごと完備したアレクサンドル・デュマのダイニングルームをはじめ、マジョレルやガレといった作家たちの家具は、往時の雰囲気をそのままに、部屋を訪れたお客様が、ゆっくりと作品に向き合えるよう心がけて、展示しています。ガラス工芸においては、工芸の枠を超えて芸術表現に挑んだガレの晩年の作品を多数所蔵しており、その充実した作品群は、日本の美術館が所蔵するガレのコレクションの中でもとりわけ注目される存在です。









ヤマザキ マザック美術館
THE YAMAZAKI MAZAK MUSEUM OF ART
〒461-0004　愛知県名古屋市東区葵 1-19-30
TEL:052-937-3737　FAX：052-937-3789